



NATIONAL INSTRUMENTS™
LabVIEW™
Real-Time

ソフトウェアをホストコンピュータにインストールする

リアルタイムアプリケーションの開発を始める前に、LabVIEW Real-Time (RT)をWindows 2000/NT/ME/9xがインストールされているホストコンピュータにインストールします。次にホストコンピュータにRTシリーズのDAQボードをインストールします。そしてホストコンピュータを使用して、アプリケーションを開発します。

LabVIEWをインストールする

1. LabVIEWのCDをCDドライブに挿入します。
2. セットアッププログラムを実行します。画面に表示される手順に従います。
3. www.ni.com/jp/registerから製品のオンライン登録を行います。またLabVIEW登録カードの記入欄に必要な事項を明記した上、ナショナルインスツルメンツへ郵送する事も可能です。登録後、製品のサポート、アップグレードおよび製品に関する重要な情報をお届けします。
4. 初めてLabVIEWをお使いになる場合は、LabVIEWの起動時に表示される**LabVIEW**ダイアログボックスの**LabVIEW**チュートリアルボタンをクリックして、LabVIEWチュートリアルの練習問題を行うことをお勧めします。



LabVIEW Real-Timeモジュールをインストールする

1. LabVIEWのCDを取り外します。LabVIEW Real-TimeのCDをCDドライブに挿入します。
2. autorun.exeを実行します。画面に表示される手順に従います。

RTシリーズDAQボードの取り付けおよび構成

コンピュータの使用可能な拡張スロットにRTシリーズDAQデバイスを取り付けることができます。ノイズを抑えるには、RTシリーズDAQデバイスとその他のハードウェアに間隔を置くことをお勧めします。

PCIボードの取り付け

下記の手順に従って、RTシリーズPCIボードを取り付けます。

1. コンピュータの電源を切って、プラグを抜きます。
2. コンピュータの上部カバーまたはアクセスパネルを取り外します。
3. コンピュータのバックパネルにある拡張スロットカバーを取り外します。
4. 5 V PCIスロットにRTシリーズDAQボードを挿入します。配置しやすくするため、ボードをそっと動かします。スペースに余裕がないかもしれませんが、ボードを無理に配置しないでください。
5. 必要があれば、RTシリーズDAQボードの取り付け金具をコンピュータのバックパネルレールに取り付けます。
6. カバーを元の位置に戻します。
7. プラグを差し込んで、コンピュータの電源を入れます。

PXIボードの取り付け

下記の手順に従って、RTシリーズPXIボードを取り付けます。

1. コンピュータの電源を切って、プラグを抜きます。
2. 選択したPXIスロットのカバーパネルを取り外します。
3. 5 V PXIスロットにRTシリーズDAQボードを挿入します。脱着ハンドルを使用して、ボードをシャーシに完全に挿入します。
4. RTシリーズDAQボードのフロントパネルをシステムのフロントパネルのマウントレールに取り付けます。
5. プラグを差し込んで、コンピュータの電源を入れます。

RTシリーズのDAQボードを構成する

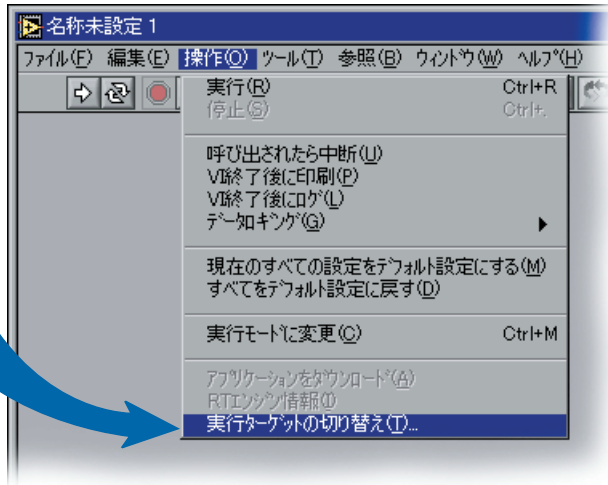
1. ホストコンピュータのデスクトップ上にある**Measurement & Automation**エクスプローラアイコンをダブルクリックします。
2. 左のペーンにある**デバイスとインタフェース**のアイコンを拡張します。RTシリーズプロセッサボードとドーターボードが表示されます。例えば、次の図に示すように**PCI-7030**プロセッサボードと**6040E**ドーターボードが表示されます。
3. RTシリーズのドーターボードを構成することが可能です。左のペーンにあるドーターボードを選択します。構成ダイアログボックスにある**プロパティ**ボタンまたは**構成**ダイアログボックスをクリックします。



アプリケーションを開始する

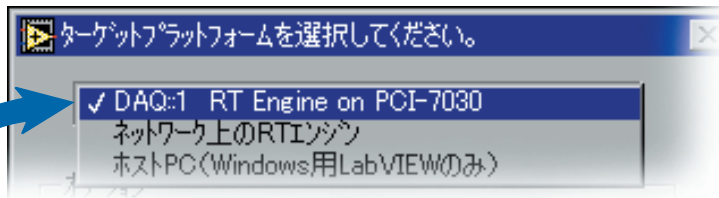
以下の手順に従って、RTシリーズDAQデバイスにLabVIEW Real-Timeをターゲットします。

1. LabVIEWを起動します。
2. 以下の図のように、新規VIから操作→実行ターゲットの切り替えを選択します。

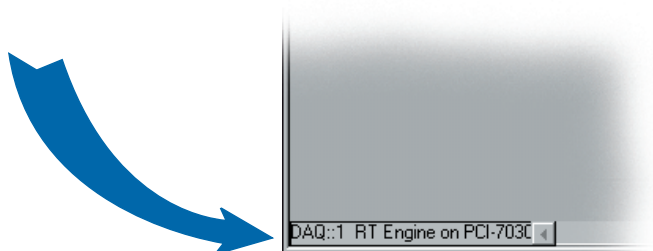


ターゲットプラットフォームを選択してくださいダイアログボックスが表示されます。

3. 以下の図が示すように、プルダウンメニューからRTシリーズDAQデバイスを選択します。**OK**ボタンをクリックします。



以下の図が示すように、フロントパネルの左隅にユーザの選択したハードウェアターゲットのIPアドレスが表示されます。その後に行うVIは自動的にRTシリーズDAQデバイスにダウンロードされます。



アプリケーションを作成する

これでLabVIEW Real-Timeのアプリケーションを作成する準備が整いました。LabVIEW Real-Timeの詳細は、以下の資料を参照してください。

- LabVIEW Real-Time User Manual: LabVIEW RTを使用して決定的なアプリケーションを作成する際は、このマニュアルを参照してください。
- RT Series DAQ Device User Manual: LabVIEW RTとともにRTシリーズDAQデバイスを使用する際は、このマニュアルを参照してください。
- LabVIEW Real-Time Help: LabVIEW RT VIの詳細については、このヘルプファイルを参照してください。
- Measurement & Automationエクスプローラヘルプ: RTシリーズDAQデバイスの構成の詳細については、このヘルプファイルを参照してください。



ni.com/jp

ni.com/jp/support

